

令和3年度

新任職員研修復命書より

特養 介護士

今回新任職員研修を受けて、人として大切にしなければいけない部分を改めて考えさせられ心に響きました。この初心の心をいつまでも忘れないように、その都度一つひとつを振り返り考えることを大切にしていきたいと思います。

その人にとっての幸せとは、喜びとは、楽しみとは、その人の言葉、表情等の背景にあるものは何なのかを考え、その人に耳を傾け、受容共感し寄り添い、その人と過ごす一瞬一瞬を大切にしていきたいと思います。

また、「自分も大切にしながら他人も大切に」人を大切に思う、考える心の土台として重要で大切なことだと思います。これから長く働いていくためにも、自分自身の心も穏やかで満たされていないと、余裕が持てずふとした時に出てしまうのかもしれないと思いました。自分の心も身体も大切にしながら、人のこともしっかり考えていこうと思います。

また、萱垣会の基本理念と歴史とビジョンの中に記載があった、マザーテレサの人生の99%が不幸であっても最後の1%が幸せならば、その人の人生は幸せなものに変わるという言葉があるように、その人が1日の中で一瞬でも良かったな、嬉しいなと思えるような支援をしていけるようになりたいです。

EPA ベトナム
特養介護士

人間誰も「生・老・病・死」4つの段階を経て生きなければなりません。誕生・老化・病気または死は人間とすべてのものの自然な生活の現れです。私たちは生まれ年を取ります。年を取ると体が弱くなり、病気にかかりやすくなります。人生には常に終わりがあり、死は私たちの人生が止まる時です。

人生において、人々は常に健康で長生きすることを願うために、誕生と老年という言葉に焦点を合わせています。

年を取ったら、ベトナムには家族で、子・孫が親・祖父母を世話すると身につけていますが、日本は子供の仕事が忙しくて親や祖父母の面倒を見ることが難しいです。より良い生活が送れるように施設に入っています。施設で他の利用者様と仲良く、昔の話を打ち明けながら、楽しく毎日を過ごすこともできます。医師や看護師、介護士もいるので体調が悪い時にもすぐに対応できます。

私は利用者様とうまく話せるように、毎日日本語や介護の知識を頑張っ習っていきたいと思います。初めて日本に来て新しい仕事は難しいですが頑張ります。



デイサービス
介護士

私はこの度新任職員研修に参加することが出来ず残念でしたが、お送りしていただいた資料を読み、感じたことをご報告させていただきます。

まずは経営理念の「一隅を照らす」についてです。私は4月から初めて社会人になり、今から不安な気持ちでいます。ですが、資料を読み「一隅を照らす」の本当の意味を知り、4月から始まる新生活が希望にあふれ楽しみになりました。4月から萱垣会の一員として、自分の置かれた立場で精一杯努力をし、自分の輝きで利用者の方々を明るく照らすことのできるような介護士になりたいと思いました。そして自分の喜びと共に他人の幸せを追求していきたいと思いました。また最澄様の「他人のことを考えられる心が国の宝」というお言葉がとても響きました。For Me ではなく、For You の心で仕事をしていきたいと思いました。

私は就職先を決めるとき、真っ先に「人の役に立ちたい」と考えました。現代はまさに少子高齢化社会です。その中で私がどのように自分の良さを活かし、どのように貢献できるかを考えていました。その時に見つけたのが介護職でした。想像で大変なことを理解しながらも「ここなら自分の良さを活かせる。やりがいを感じ、自身が貢献しながら成長できる」と感じました。社会の役に立ち、自分の心身の成長もできる最適な現場だと感じました。あの時の気持ちの高ぶりを忘れることなく、経営理念を理解し精進していきたいと思います。

幼い頃から迷惑をかけながら育ち、社会人となった今、成長した姿でお年寄りの皆様に恩返しをすることが出来ると思うと4月からの生活が楽しみです。利

利用者の方を思いやり、人権を尊重できる職員であることや、常に笑顔でのコミュニケーションを心掛け、安心して頼って頂ける介護士になりたいと思います。

次に日本の高齢化の推移と飯田市の人口推移についてです。日本では年々総人口が減っていますが、75歳以上の人口はほぼ変わっていません。飯田市の人口推移を見てみると、日本のグラフと同じで総人口は年々減少していますが、高齢者人口は減少せず、高齢化率が上がっています。また近年話題になっている「老々介護」も増えていくと予想されるため、これから先介護職の需要が高まっていきます。そうすると介護サービスを受ける方も増えていきます。そんな方々一人一人に合った、やりたいことを当たり前に行える快適な環境づくり、利用者の方々の人生が最後まで美しく、輝けるようにサポートできるように、今後の日本・飯田市に適応していきたいと思います。

最後に私がもう一つ響いた言葉は「思いやりの気持ちは、行為になってこそ意味がある」です。行動しなければ気持ちを持っていても相手に伝わることはありません。せつかく思いやりの気持ちを持っているなら、他人の為にしっかりと行動に移すべきです。私は入職後、気持ちを行動に移す一歩を心掛けていきたいです。他人の喜びを共に喜び、他人の痛みを心で感じ、自分のエネルギーで利用者の方々を照らし続けていきたいです。



保育士

研修では、社会人として大切にすべきことや法人について詳しく教えていただきました。保育士や人として人と関わる際に気を付ける、意識すべきことを学ぶことができました。「笑顔に優る化粧はない」この言葉にとても心を打たれました。どんなに上手に化粧をしても人と関わる時に笑顔でなかったら印象が悪いと思います。子どもと関わる時も笑顔の人と笑顔ではない人となら、笑顔の人と遊ぶほうが子供たちも楽しいと思います。なのでどんな時でも笑顔でいようと思います。

萱垣会の理念である「一隅を照らす」にとても共感しました。自分のことばかり優先するのではなく、相手のことを優先できる人間になりたいと思いました。人のことを考えられる人間になりたいです。他人のことを考え、他人の気持ちを理解できるような保育者、人間になりたいと感じました。

自分の心を律してコントロールできるように、自分の心にゆとりを持てるようにしたいと思いました。自分の中にゆとりが無いと、相手・他人と関わる時にも冷たい態度をとってしまったりしてしまうことがあるかもしれないので、自

分も大切にしながら、相手のことも大切にできる人間になりたいと思いました。当たり前なことかもしれませんが、人と関わる時にとっても大切なことだと思うので、当たり前のことを当たり前のようにできようになりたいです。

今回の研修で学んだことを、これから社会人として保育者としても活かしていきたいです。